

本市のデータ

(1) 面積 94.20km²

(2) 人口・世帯数

	H20	H22	H23
人口	21,117	20,748	20,511
世帯数	8,921	8,856	8,972

(3) 65歳以上人口比率 28.8%

(4) 沿革

昭和28年に勝浦町、興津町、上野村、総野村の4町村が合併し、勝浦町に。さらに昭和33年に、千葉県内18番目の市として誕生。

(5) 産業構造 (H22.10.1)

	就業人口	割合
1次産業	1,134	11.4%
2次産業	1,989	20.1%
3次産業	6,741	68.1%

本市の概要

千葉県の南東部、都心から約75km圏内に位置し、黒潮の北上する太平洋岸に面している。海岸線は自然景観に富み、市北西部は房総丘陵に属する海拔150~250mの丘陵性山地が分布し、平坦地が少ない。

古くから漁業により栄え、カツオ・イセエビの水揚げ量は全国トップクラス。また、美しい砂浜とリアス式海岸の織りなす風景は、勝浦を訪れる人々に深い感銘を与え続けている。

400年余の歴史を誇る朝市は、日本三大朝市と称されている。地元の豊富な産物が集まるため、観光名所として多くの観光客で賑わい、また市民の台所としても親しまれている。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

近年の勝浦市の自殺死亡率はほぼ横ばいであり、中高年の男性の自殺が半数以上を占めている。自殺の原因等の詳しい状況の把握はできていないため、自殺対策の第一歩として、自殺の実態の分析を進めていきたい。

勝浦市では、保健師等による相談を随時受け付けている。また、母子保健事業などの各事業を通し、乳幼児から高齢者まで幅広く接する機会があり、相談や自殺予防に関する健康教育等を行っている。今後も引き続き実施し、住民も含めた地域全体で支援できる体制を整えたい。

また、自殺の原因は多岐に渡り、健康問題、経済問題、家庭問題などが複数重なり自殺に至ることがあり、市役所のあらゆる部署で相談されている可能性がある。対応にあたる市職員のメンタルヘルスに関する知識の普及にも努めたい。

<具体的な取組み>

(1) メンタルヘルス相談

- ・電話でメンタルヘルスに関する相談を保健師や看護師が随時実施。
- ・新生児訪問や乳幼児相談会等を通し、乳幼児を持つ母親の相談に対応。
- ・個別訪問や面接等を通し、相談を実施。

(2) 各種市民相談

- ・市民法律相談、消費生活相談等を実施。

(3) 健康教育

- ・住民団体への健康教室にて、メンタルヘルスに関する健康教育を実施。

(4) スクールカウンセラー

- ・小・中学校へスクールカウンセラーを配置し、児童・生徒の相談に対応。

(5) 資金貸付

- ・民生委員との連携により、緊急応急的支出を必要とする者に、無利子で資金の貸付けを行う福祉資金貸付金庫貸付事業を実施（勝浦市社会福祉協議会）。また、県社会福祉協議会より委託の低所得者等への生活再建などを目的に、生活福祉資金の貸付けを実施。

(6) 啓発活動

- ・広報誌にてメンタルヘルスに関する記事を掲載し、相談窓口について周知。
- ・市役所内に自殺予防のポスターを掲示。